

鹿本幼稚園応援団実践報告書



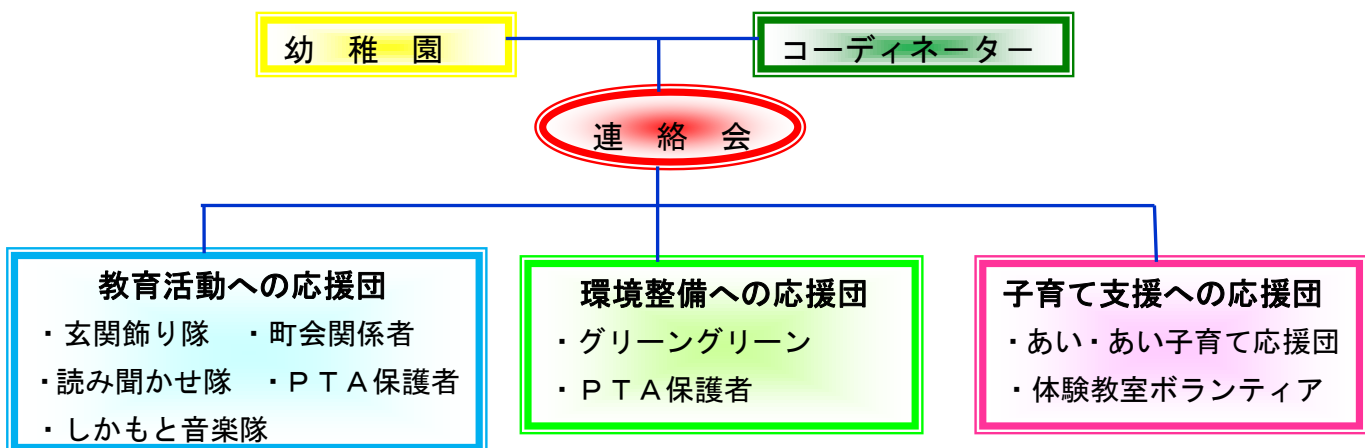
1 園長及びコーディネーター氏名

鹿本幼稚園長 中村 和穂
代 表 名 塚原 明生

2 今年度の活動内容

応援団の種類	応援団の名称	活動内容
教育活動	玄関飾り隊	○ 玄関の壁面を季節に応じて装飾する
	読み聞かせ隊	○ 学級に入って絵本の読み聞かせをする
	しかもと音楽隊	○ 行事のときにコンサートをやる
環境整備	グリーン・グリーン	○ 樹木・花や池、畑などの環境整備をする
	P T A 保護者	○ 排水溝や池の環境整備をする
子育て支援	あい・あい子育て応援団	○ 午前のひろばで未就園児の会の支援をする
	体験教室ボランティア	○ 体験教室（陶芸教室・かざぐるま作り・アスレチック）の支援をする
	お話会	○ 午後のひろばでお話会をする
	折り紙教室	○ 午後のひろばで折り紙教室をする
	手芸教室	○ 午後のひろばで手芸教室をする

3 学校応援団組織図



4 今年度の成果と今後の課題

<成果>

- 学校応援団が定着してきて、それぞれの応援団が自主的に活動してきている。
- 子育て支援活動として、新たに午後のひろばで手芸教室を年6回実施し、体験の幅を広げた。今、家庭でなかなか体験できない針・糸・織物などを親子で体験できた。

<課題>

- あと1年であるが、最後まで意欲をもって子ども達のために創意・工夫した活動を展開していくこと。

5 代表より

「始の一步」

数ヶ月前から家の前を通る子供達や道ですれ違う子供達に意識的に声をかけている。始の頃はキョトンとしていた男子や女子がようやく「おはようございます」や「こんにちわ」等と言葉を返すようになってきた。近所のおじさんで、決して怪しい人物ではない事が解ってきたせいか、最近では子供達の方から声をかけてくれる。大きな声で元気くこちらからも返事をすると、子供達の目がキラキラ輝いているのではないか。中には照れくさそうにしながらも笑顔で去って行く集団もいる。

嬉しい気持ちや楽しい気持ちを男子や女子も共有してくれている。見知らぬ人に声をかけるのは、確かに勇気が要るかもしれないが、その先には必ず明るい未来が待っているように思える。そんなささやかな小さな積み重ねが子供達を地域で見守り育てていく始の一步ではないだろうか。

6 園長より

学校応援団の皆様のおかげで、鹿本幼稚園ならではの特色ある教育活動が年間を通して定着して行われるようになってきました。

それは、何年か、一緒に活動を積み重ねる中で、幼稚園も応援団の方々もそれぞれの役割が分かり、お互いに、見通しをもって準備をしたり、互いの立場を尊重して動いたりということがスムーズに行われるようになってきたからだと思います。

あと1年ですが、学校応援団の方々と共に鹿本幼稚園がもつ教育力を十分活かし、子ども達の成長発達や地域の子育てに努めていきたいと思えます。